

平成 25 年 9 月 3 日

都道府県バスケットボール協会
指導者育成委員会委員長 各位、

公益財団法人日本バスケットボール協会
テクニカル委員会委員長 佐々木 三男
コーチコミッティグループ長 倉石 平
(公印省略)

「E 級コーチの位置づけ」について

平素より当協会指導者育成関連事業にご協力を賜り幸甚に存じます。

さて、新ライセンス制度が始まり、初めての更新作業を行った結果、多くの問題点を皆様からお寄せ頂いております。テクニカル委員会ではより良いシステムを目指し改善に努めさせていただきます。

その中で早急にご回答すべきものとして、「ライセンスの降格」の問題があります。

今まで本ライセンスには降格という考え方がありませんでしたが、E 級ライセンスを設けた関係で D 級からの降格を求める方がみられるようです。これからも降格を希望される方からの問い合わせがあると推察し、テクニカル委員会ではコーチ登録をされている皆様に別紙の通りお知らせする予定です。各都道府県での窓口となる皆様におかれましては、何卒テクニカル委員会の方針をご理解頂きご対応下さいますようお願いする所存です。よろしくお願い申し上げます。

【問合せ先】

公益財団法人日本バスケットボール協会
担当：平田

Tel: 03-3779-3101(9:30~17:30)

Mail:nhirata@basketball.or.jp

E級コーチの位置づけに関する見解

<見解>

E級コーチへの降格は認めない

<理由>

日本バスケットボール協会が目指すコーチ像は、高度化、専門化するバスケットボール技術や戦術に目を向け、指導する対象にふさわしいコーチングができるように、自ら常に学び続けるコーチです。

コーチライセンス制度改定で A、B、C・・・という名称に変更したのは、段階的にコーチングを学び上位資格へトライしていただきたいという願いが込められています。さらに資格更新のためのリフレッシュ研修は、コーチ自らが学び続けるための研修にもなっています。

コーチライセンス制度の改定で新たにE級コーチを設定しましたが、これは D 級コーチになるための暫定的な措置として設けたもので、当初は4年以内に D 級コーチを取得することを義務付けていました。ただ、Web 登録システムの問題でそうした設定ができないため、義務付け要件を削らなければならなくなりました。

しかし、基本的には特別な事情がない限り D 級コーチを取得していただくための予備期間であるという位置づけです。E級コーチでは、登録料を徴収せず、有効期間も設けていないのは、こうした理由からです。

しかし、最近になってD級以上のコーチ資格をお持ちの方から、「登録手続きが面倒である」「登録料を払いたくない」などの理由で、「E級コーチに降格させて欲しい」という声が上がっているようです。

テクニカル委員会コーチコミッティーグループでは、こうした問題に対して慎重に検討した結果、E級コーチへの降格を認めないということになりました。

但し、例えばC級コーチが日体協への手続きを怠るなどしてその資格条件を満たさなくなった場合などは、C級コーチから D 級コーチに降格させる措置を認めるなど、E級コーチ以外への降格については、状況に応じてそれを認めることといたします。

以上